

白門ライオンスの私 会長就任の私見

「エーちゃん、中大出身だったよね」「えー、そ

うですが」時のがばナー山浦晟暁だった。

「これは新協を四五周年を明春(2000年)に控

え、私はその実行委員長の時だった。

「大学系のライオンスをニッ結成した」んだ

「私は新協育ちで在籍30年ですし離れろ気

はありあせ」なかく踏み切れないでいる

と「エーちゃんよく創ったよ」大学ライオンスの

生みの親でもある櫻川ライオンス私井健治御

大さぶさま「エー君、中大ライオンスを何

とか頼むヨ」流石の腰を上げたのが、その歳9

秋も深まる頃だった。三六会や年次の会、南甲

倶楽部の仲間等、少々な頼を要し2有り卒

業生「いっらん卒に入会の意向を発送。

大学記念館に寄附して無料で借ることに

成功!! 新協から転籍予定の鈴木元会長、

神宮元からは星野元会長、これに三六同期の

中西し、好新浦し、そして今月から復帰の、

鹿島し、昔からの伊向大越し、この方こそ中

心には十二、一、二と三ヶ月の間に十数回に亘り

新の会員募集説明会を開催。その間に

岩瀬之会を多々のメンバーを招き。とし

て講演会をほりたりと辞めしむむ格好

い会場を提供ししれりこと。後は近代会

古候神、中西女史の立案で、「中山先五は下願

いするしかないわヨ」當時学員会をたつた

中山名譽会をのり説き導しに成功!!

結成は新病を四五回年と併催。記念講演の

講師を中山先生に依頼。石ニ島と関つた。

当時、甲大のロビから「エーちやんは会

うと二言目は白内をにやうない？」耳に聒

たヨ、白内を三六名誕生の夜明とある。

只、私としは誰にも話つた話はなく、

今の伊岡とはなにかを三〇年、経路から肌で

知つていた。としは何の為にはうらぶを創るの

か。目標の設定をした。それは一に大学貢献

二にも大学貢献、としは白内同窓学員との親

睦。即ち甲大大学と、いう地域に持化した奉仕

活動。これを一途に貫いて来た九年のりした。

活動。これを一途に貫いて来た九年のりした。

3. 多少のキャビネットや地クラブとの軋轡はあつたが、これが白内ライオニスと私は今も思っています。

そして伊山や代会長はじめ鈴木清次、岡本、星野、岩瀬各会長の献身的なクラブ運営と会員の協力のあやかで、こゝに十周年目を迎えるところである。さうだ、楊は榎本屋にならう。即ち剪定とし、水と遣る。これが私に与えられた仕事ではないか。

……園話休題……

北魚白秋の「待ちぼうけ」という童謡があれである『伊国の轅非子からの引用』本々切株にうさぎが偶然ぶつかり、労せむに捕獲した樵が、それから本と切ることと止め、只管切株を見送っていた、という話。

そうですね。果報は寝てはやく果ません残念作、人の命は有限です
今の我がクラブの株に組織はたえぬ

新しい血を注ぎこんだこと自然衰退します
既會員がこれをお同称。我會員を暗かく
迎え、新鮮な空氣が生れます。

我カララフは結成以來皆個人のたゆまぬ
努力の結晶で、他カララフが善やむ悪者
と区別するカララフは成せしやうだ。

甲するものもなく、乙は彼個人の「認り」に
我會員が全れます。

ところが全會員が増強要員になつて價
格優良會員と異に「認」に下るものはあ
らぬ。

そしてその収入は彼個人からの浮材だ。
けが頼ります。

これは我カララフには人様と「認」を「認」
す物。所謂人財愛があつた。

本年二月十六日ははな丸年向の輪の重み
か見事に実力を發揮し、白内たの心の
結晶が実となり花を咲かせた。我々「
翔」のよろこびと誇りと共有出来ることと
願つて「指環」と名くすべし。榎秀郎

二〇〇三年七月一日